

NONCRA®Eスーパー強化目地処理工法 PAT

外部軒天塗装仕上

ケイカルボード類 薄モ/

技術相談窓口 株式会社 ライトビームシステム技術センター
Tel03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯Tel 090-4518-1395

下地補強 鋼製下地野縁受けチャンネル格子組固定補強 ～ 目地突付け貼

- 1. 野縁受け+野縁受け交差部：振れ止めクリップ使用
- 2. 野縁受け+野縁交差部：RPクリップ使用
- 3. 鋼製下地のない野縁方向のボードビス留付：新開発 ”NONCRA®JOINT”使用

ステンレスビス留付け・留付間隔15cm以内・2枚張ボンド併用

弊社HP：「設計事務所の方へ」を開き「天井軽量鉄骨下地・ボード貼耐震仕様」

参照

V目地の場合

“変性エポキシ樹脂シーラー”塗～NONCRA®特性厚付用パテ”充填平滑仕上

STEP 1. 継目部“オービタルサンダー”目違い不陸研磨～清掃～ 全面“変性エポキシ樹脂シーラー”塗

STEP 2. テープ幅”NONCRA®テーププライマー、ローラー塗～接合テープ”NONCRA®Eスーパー”貼着～

ステンレス鋼帯フレ部タッカ留付固定

●弊社HP「テープの貼り方」参照

“専用フィルム用ヘラ”を使用し、テープ両耳押圧離けい紙剥離、貼着前後2回しごき貼着

●注意 ・出隅→NONCRA®出隅コーナ、異種間、常時振動部→NONCRA®Eスーパー、NONCRA®EXスーパーを使用

・テープ接着面のパテ表面強度が弱い（粉パテなど）と、挙動時テープがパテを引き起こし剥がれる

・テープを引張って貼れ。シワができたならカッターで上から切断し「タッカ」接着留付固定

STEP 3. テープ上”NONCRA®専用塗材”塗 接着結合 塗幅：テープ上面

1回目： “NONCRA®弾性エポキシ”塗へらしごき取り 幅：60mm 乾燥硬化：夏季4時間以上、冬季1日以上

二液反応速硬化タイプ、弾性引張伸び率110%、ハジキ皆無

●警告 ・エポキシ樹脂が硬化前に次工程に入るな ・ 乾燥後仕上面にカメノコ亀裂が入ってしまう

2回目： “NONCRA®エポコート”塗 原液塗布 幅：60～70mm 2インチ中毛ローラー使用 乾燥硬化：3時間以上

STEP 4. 目地処理面平滑仕上塗

ケース1:雨が直接当たる部分

“モルタル接着増強材”塗 ～ “ノンクラ®リマセメント”塗 厚1mm以下

1回目： モルタル接着増強剤：NSハイフレックスHF1000 5倍希釈塗布 塗幅：200～250mm

2回目： ノンクラ®リマセメント塗：外部用無機 鋳・ゴムヘラ使用、粉体5kg×3袋+ノンクラ®混和液2kg×3本/21kgセット

粉体5kg×3袋 + ノンクラ®混和液2kg×3本 /21kgセット

硬化乾燥：1日以上

3回目： “ノンクラ®リマセメント混和材入薄塗セメント”塗仕上

硬化乾燥：3日以上

NSセプロン#10、ポリマミックス#5 20kg + ノンクラ®リマセメント混和液 4kg + NSハイフレックスHF1000 5倍希釈液 5.5kg

ケース2:雨が直接当たらない部分

“NONCRA®C仕上用パテ”塗

厚0.3～0.5mm以下

STEP 5. サンディング 塗り継ぎ部当てペーパー掛け、適時#100～120ペーパー選定使用

STEP 6. “仕上塗材用下地調整材”全面吹付け・ローラー塗 ～ 超平滑ヘラしごき ～ 仕上塗装

下地処理材の一例： 水性ソフトサーフSG（一液水性微弾性サーフェーサー）

500～600g/m²

●特徴 「シーラー機能」「フィルター機能」「中塗り機能」「仕上塗材の下地の付着性」処理部との吸込み・仕上ムラ防止

仕上塗装 2回塗 450g/m²

アドバイス

- ・テープの完全接着と仕上材各工程に於ける乾燥時間の厳守
- ・下地に仕上塗料が吸込まれ、色むらが出る。下地処理を入念に施工すること
- ・太陽の入射角による不陸に注意し、斜光時に最終不陸調整を行なう